

学校経営の構想

関係法規 県教育施策 大和町教育基本方針	学校教育の基本方針 日本国憲法，教育基本法，学校教育法，学習指導要領その他の諸法令の精神に基づき，宮城県教育委員会，大和町教育委員会教育方針に則り全人教育を目指し，地域の実情や生徒の実態を踏まえ，知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒を育成する。	生徒の実態 地域の願い 保護者の願い 教員の願い
----------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------

【学校教育目標】

豊かな心を持ち，自ら学び共に高め合う生徒の育成

目指す教師像	目指す生徒像	目指す学校像
○絶えず研鑽に励み確かな指導力をもつ教師 ○生徒に向き合い，一人一人の個性を大切に する人間性豊かな教師 ○明るく公正で，互いに協力し合う教師 ○高い倫理観と使命感をもち，保護者・地域 から信頼される教師 ○教育の成果を生徒の姿で語る教師	○主体的に学び，夢や志に向かって努力する 生徒 ○自らを律し，思いやりと感謝の心を持ち支 え合って生きる生徒 ○身体を鍛え，心身共にたくましく粘り強く 取り組む生徒	○一人一人の生徒に居場所と要場所があり，学 ぶ喜びに満ちた学校 ○爽やかな挨拶と明るい笑顔があふれる活力 のある学校 ○生徒が安全かつ安心して生活できる美しい 学校 ○家庭や地域に開かれた信頼される学校

【学校経営方針】
(1) 教育活動のすべては教育目標の具現のためであるとの認識をもって計画的に活動を推進し，検証改善サイクルを重視した学校経営を行う。 (2) 教育の各領域の調和を図りながら，学校課題を踏まえ，一人一人が生きる力を身に付け，生涯にわたって学習する基盤を培う特色ある教育活動を行う。 (3) 生徒指導の三機能を生かし，生徒の「居場所」と「要場所」のある学校づくりに努める。 (4) 生徒一人一人が，宮床中学校の生徒としての自覚と誇りをもつとともに，互いに高め合い，磨き合い，支え合って夢や志に向かって歩み続ける力を養う (5) 地域の教育資源を生かした活動の充実を図り，生徒一人一人の視野を広げながら学びを実感させる教育活動を展開する。 (6) 校内研修の充実を図り，実践的指導力を備え教師の使命感に徹した教師集団を目指すとともに，家庭や地域との連携を深め，積極的に情報を発信し，信頼と期待に応えられる学校を目指す。

本年度努力事項と具体的方策	
1 学ぶ意欲の向上と確かな学力の育成	
(1) 学びを支える基盤づくり ① 学びの土台である「学習規律」の徹底 ・始業の合図と共に始まり，終業の合図と共に終わる授業 ・授業の約束事等，基本的な学習習慣の定着 ② 望ましい「学習習慣」の形成 ・家庭学習の習慣化と質的充実 ③ 高みを目指す「学習集団」の育成 ・受容と共感のある，望ましい人間関係の醸成 (2) 「分かる・できる」を実感させる授業づくり ① 「学力向上5つの提言」の徹底 ② 「話し合い活動」の重視（「主体的・対話的で深い学び」に向けて） ③ 標準学力検査等の結果分析とその有効活用 ④ 補充指導等，個々のつまずきへの支援の充実 ⑤ 町学力向上支援事業の積極的・効果的な活用	(3) インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進 ① 個別の指導計画に基づいた特別支援教育の推進 ② 校内教育支援委員会を核とした生徒の教育的ニーズに応じた共に学ぶ教育の推進 (4) 進路実現への意欲の向上と支援の充実 ① 啓発的体験活動の効果的な実施とガイダンス機能の充実 ② 進路情報の適切な提供 (5) 教員の教科指導力の向上（校内授業研究の充実） ① 視点を基にした「協働による授業づくり」の定着 ② 年2回の指導主事訪問と3回の校内授業研究会の実施 ③ 視点に基づいた授業参観と事後検討会の実施
2 豊かな心と健やかな体をもつたくましい生徒の育成	
(1) 道徳教育の充実 ① 道徳の時間（道徳的実践力）と特別活動（道徳的実践）の有機的関連 ② 「考え，議論する」道徳の時間の指導の工夫（道徳科を意識して） (2) 志教育の視点を踏まえた教育活動の推進 ① 将来の生き方を考えさせる体験活動の充実 (3) 「居場所」と「要場所」のある学級・学年経営の推進 ① 自己有用感を高める教育活動の工夫 ・係活動の充実，清掃指導の徹底 ② 生徒の「絆づくり」を推進する支援の充実 ・人間関係形成力を高める教科等での学習活動や体験活動の工夫 (4) 生徒の自律/自立を支援する教育活動の推進 ① 規範意識の醸成（日常生活重点5項目の徹底） ・「爽やかなあいさつと返事」「相手のことを考えた言葉遣い」「整理整頓」「一人一役」「丁寧な清掃」 ② 「中学校区3校連携スローガン」の徹底 ・「みんなで守ろう『あいさつ』『返事』『靴そろえ』」	(5) 生徒の主体的な活動の推進 ① 学校生活の向上を目指した生徒会活動 ・委員会活動の充実 ・いじめ根絶に向けた生徒主体の活動 ② 生徒の達成感を高める生徒主体の魅力ある行事づくり ③ 体力の向上と心の成長を促す生徒主体の部活動 (6) 健康な体を目指す自己管理能力の育成 ① 健康教育（保健指導 食に関する指導 安全指導）の充実 ② 健康診断結果と体力・運動能力調査結果の有効活用 (7) 相談機能の充実（いじめ・不登校の未然防止） ① 廊下巡回による生徒との時間の共有と積極的なチャンス相談 ② 生活アンケートと対策委員会の定例化（担任・担当を孤立させない組織的な対応） ③ SC（スクールカウンセラー）・SSW（スクールソーシャルワーカー）の有効活用と関係機関との連携
3 地域に信頼される開かれた学校づくり	
(1) 9年間を見通した小中連携の推進 ① 中学校区連携推進事業の質的な向上と日常的な情報交換 ② 実効性の高い小中連携指導協議会の実現 (2) 生徒理解と保護者との連携 ① 生徒の笑顔を見つける・つくるための生徒理解の深化 ② ネットワーク・チームワーク・フットワークを重視した組織対応 ③ 保護者への綿密な連絡・相談と説明責任を果たした丁寧な対応	(3) 地域の教育資源の有効活用 ① 地域連携の一層の推進及び地域人材の積極的な活用 ② 中学校区健全育成委員会や学校評議員会の効果的な運営と連携 (4) 情報の積極的な発信 ① 各種通信のタイムリーな発行による情報提供 ② ホームページの質的・量的な充実

